

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 559 号	氏名	中本守人
学位審査委員	主査	川上 純	
	副査	中島正洋	
	副査	西田教行	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、頸動脈狭窄症における危険因子としての血清 S-グルタチオン化蛋白レベルを検討したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>頸動脈狭窄症患者と同年齢の頸動脈狭窄を有さないコントロール症例の血清および前者での内膜剝離術で得られた組織を研究に用いた。血清の S-グルタチオン化蛋白はイムノブロットで、また、病理組織はプラークと酸化ストレスの状態を評価しており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、頸動脈狭窄症患者では有意に血清 S-グルタチオン化蛋白濃度が上昇していた。ロジスティック回帰分析では血清 S-グルタチオン化蛋白濃度の上昇と頸動脈狭窄には有意な相関を認めることを明らかにし、今後の頸動脈狭窄症の危険因子の解析研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は頸動脈狭窄症の危険因子の解析研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			